**宮本 紗光 （みやもと・しゃこう）**

**１、プロフィール**

川柳作家。20歳より川柳入門し弘前川柳社の創立同人、また青森県川柳社の創立同人として活躍。のち両川柳社の代表を務め、県柳界の発展に尽力した。

＜生没＞

1913（大正２）年２月４日～1990（平成２）年３月25日

＜代表作＞

句集『林檎樹』

＜青森との関わり＞

弘前市生まれ。同市内で文具店を経営。

**２、作家解説**

大正２年弘前市に生まれる。本名栄三。弘前市立商業専修学校卒業後、市内の「鍵屋」小間物卸店で修行。昭和13年父の経営する小間物化粧品店に参画、以後同店を経営。

昭和８年後藤蝶五郎宅での句会に参加し川柳入門。10年弘前川柳社創立同人。昭和21年青森県川柳社創立同人。40年弘前川柳社代表、63年まで務める。63年青森県川柳社代表、平成２年まで務める等、県柳界への功績は大きい。

昭和35年新人育成のため自宅を開放して「花園句会」を実施、後年61年より新人教室「ほのぼの句会」を開くなど、新柳人の育成に特に心をくだいた。また、自身は伝統的な作家ながら、革新的な川柳も認め、県川柳の質の向上を目指した功績もまた大きいものがある。

1990（平成２）年３月25日死去。享年77。

**３、資料紹介**

〇『林檎樹』

図書

1989（昭和64）年１月１日

220㎜×155㎜

川柳句集。著者の唯一の句集で、これまでの全作品の中から1085句を収録、著者の川柳作家としての集大成といえる。序文を片柳哲郎が記す。編集工藤寿久、発行者本人。